

AOYAMA OIKOS NOMOS



青山学院大学経済学部同窓会会報

2010. 11. 1 アオヤマオイコスノモス 第16号

60周年から2012年度へ

経済学部長 米澤 義衛

経済学部長役を拝命してはや半年。前学部長平澤先生のもと盛大かつ有意義な60周年諸行事は行われたが、その余韻に浸る間もなく経済学部は2012年委員会にフル活動をお願いし、夏休み直前に検討結果報告にこぎつけました。それを指針として、2012年度以降の経済学部飛躍のための中核になるカリキュラムを今年の年末までに仕上げなければならない。夏休み以降、経済学部は緊張の季節を迎えることになる。

2012年度。経済学部は青山キャンパス1-4年生体制に30年ぶりに「回帰」する。先輩(3-4年生)と後輩(1-2年生)とOB・OGが同一キャンパスに邂逅し、face-to-faceで切磋琢磨をし、連帯の絆を確認し合える環境を回復できるのである。厚木、相模原と1-2年生が「漂流」することに当初から多数の教職員が懸念を示していた。その懸念が現実となり様々の負の遺産を背負うことになった。それは先輩と後輩の連帯感が形成されぬ学生生活、有機的関

連性を持つ1-4年生のカリキュラム運営などに顕著である。また新入生を迎えるには不利なキャンパスのため過大なエネルギーを投じなければならなかった入試対策。そのため手薄になった出口対策。

30年の歳月。グローバリゼーション。日本の国内外の情勢は様変わりし、日本人には厳しいものとなった。就職が、職場が国内でさえ海外の人々との直接的競争を意識せざるを得なくなったという現実である。タフさ、スマートさ、そして大らかさがなければこの現実を乗り越えどこでも生きていける突破口は見つけれないのではないか。願わくば卒業時にはタフでスマートで大らかな青山学院大学経済学部学生になって欲しい。今年度の2012年委員会は、こうした私の危機感も織り込んで、出口対策をにらんだカリキュラムの構築と展開のための指針を提示してくれたのである。仕上げに当たってより一層のご協力を関係諸氏に切にお願いする次第であります。



経 歴

1971年弘前大学人文学部経済学科卒業、73年東京大学大学院経済学研究科修士課程修了(経済学修士)、77年同大学大学院同研究科博士課程単位取得退学。

1976年(社)日本経済研究センター常勤研究員、78年茨城大学人文学部社会科学科専任講師、82年青山学院大学経済学部助教授、89年同教授。1986~87年英国経済社会研究所客員研究員、95~96年米国ラトガーズ大学客員研究員。

経済学部第二部学科主任、情報科学研究センター副所長。

日本経済学会に所属。

予告! 第18回 経済学部同窓会公開講演会 (青山学院大学経済学会共催)

日 時: 11月30日(火) 18:30-20:00

講演会場: 青山学院大学 青山キャンパス9号館3階931号教室

テ ー マ: 「しまみね混迷する世界経済 よしきよ戦後世界経済の成長システムは変わるのか」

講 師: 梶峰 義清氏 (第一生命経済研究所 主席エコノミスト)

講師略歴

1990年3月 青山学院大学経済学部卒業 岡三証券入社

日本総合経済研究所を経て、1998年5月より現職



当日は経済学会第2回講演会と共催です。入場無料。皆様奮ってご参加ください。

～ 経済学部同窓会 第17回講演会報告 ～

講師：森田 実氏（政治評論家）

講演テーマ：「参院選情勢と政局展望」

今回で第17回目となる当同窓会主催の講演会は6月16日(水)18時半から総研ビル3階第10会議室にて開催されました。当日は50名近い方に参加いただきました。「経済倶楽部」という経済界の重鎮が会員に名を連ねる名門倶楽部との提携により講師をご紹介いただけるシステムの効果か、最近では三原淳雄氏(経済評論家 下左写真)、川本裕子氏(早稲田大学大学院教授 下右写真)、上村達男氏(早稲田大学法学部長)、浜矩子氏(同志社大学大学院教授)といった各界でご活躍中の講師をお招きする事ができるようになってきました。

講演内容の詳細については同窓会HPに講演録としてアップしておりますので、本稿では詳細は触れませんが、森田氏の分析は長年日本の政治を見てこられた方だけあって、一言一言に重みを感じました。昨年の衆議院総選挙での民主党大勝は、国民が民主党を支持した訳ではなく、自民党政治への批判票であることを民主党は肝に銘ずる必要があり、今度の参議院議員選挙は民主党への審判の場であるという主旨のコメントもありましたが、結果は見事に「審判が下された」形になってしまいました。民主党支持が急落した背景には「鳩山・小沢両氏のカネを巡る問題」があった訳ですが、森田氏は更に突っ込んで民主党の「霞が関解体論」にも厳しい批判の目を向けています。

「政と官」が睨み合っているのは国政が停滞してしまうことを「2頭の象が争えば傷つくのは草」というアフリカの諺を引き合いに出されながら、大事なことは党の考えをしっかりと官僚に理解させて仕事をさせること、民主党のマニフェストだから、といて霞ヶ関解体に奔走する民主党の姿勢には疑問を投げかけています。国民を無視したような「政官抗争」は国民のためにならないという持論には、森田氏の気骨を感じました。

今、民主党は大きな岐路に立っています。菅氏も小沢氏も含め、多くの民主党議員は森田氏の発言を真摯に聞き入れ、本当の意味での政治改革に取り組んでもらうことを期待する次第です。



2010年6月16日 森田実氏講演会

【アンケート結果から】

今回の講演会終了後、参加者の方には簡単なアンケートを実施しました。講演会を聴いた感想、今後どのような講師を呼んで欲しいか、等の項目に記載いただきました。30数名の方にお答えいただきましたので、いくつかのご意見をこの紙面で報告します。

① 今回講演会のテーマ・内容について

- ・大学の授業では見られない観点からの話で、政治・経済に興味を湧いて来た。(経済学部3年生)
- ・新聞には掲載されていない内容で面白かった。(文学部OG)
- ・政権交代により、日本の政局がどうなるかを知る意味でタイミングの良い企画であった。(経済学部OB)
- ・国政の現状と問題点について知識を得られた。地に足のついた内容であった。(教職員)
- ・マスコミの報道が必ずしも正しい訳ではなく、多くの情報から何が正しく何が正しくないのか判断することの大切さを感じた。(経済学部3年生)

② 今後講演して欲しい講師・テーマ等

- ・講師の希望としては、消費税をテーマにした講演会、社会保障問題についての講演(中高年OB、OGには関心あるテーマ)、暗い話ばかりでは学生として辛いので希望的な話を聴かせてくれる講師を呼んで欲しい、というような意見もありました。

同窓会としては、出来るだけ皆様の意見を取り入れながら今後の講演会を計画していきたいと考えております。

文責 佐藤英二('74)

● 過去の講演会 ●



2009年9月23日 第15回 三原淳雄氏講演会



2009年11月26日 第16回 川本裕子氏講演会

2011年度Golden&SilverJubilee祝典へ全員集合!!

2011年9月23日(祝)に卒業50周年(Golden)と25周年(Silver)の卒業生を対象とした祝典が開催されます。

2011年は1961年卒業生&1986年卒業生がそれぞれ該当いたします。

2010年度Golden & Silver Jubilee授与式の報告

太田 義男 ('60)

校友のホームカミングデーを目指し、卒業50周年、25周年という節目の年を迎えた校友を招待し、校友の絆を深めようと企画され毎年実施されているのがGolden & Silver Jubileeです。

2010年9月23日2010年度Golden&SilverJubilee授与式は1960年卒業生(Golden) 246名、1985年卒業生(Silver) 248名が参加してガウチャー記念礼拝堂で行われました。記念礼拝、そして記念品贈呈、引き続き学生食堂に移動して茶話会が開催され、学生時代に帰って懐かしい仲間と旧交を温め、また大学同窓祭にも参加して楽しい時間を過ごしました。



2010年9月23日
2010年度Golden&SilverJubilee授与式

1961年卒業(GoldenJubilee)の仲間へ

櫻井 忠敬 ('61)

思い起こすと、2001年9月の大学同窓祭に集まった10名余の同期の仲間が発起人となり、各々クラスやゼミ・サークルの仲間呼びかけ、同年11月には卒業時14クラス中8クラスの代表が参集し世話人会をスタートさせました。それ以降、2002年秋の集い(第1回同期会)開催に漕ぎつけるまで、毎月世話人会を持ちその都度クラス代表が増えていったものです。

それから3年ごとに集い(同期会)を開催しております。その第4回目が2011年になることから開催日をGoldenJubilee授与式にあたる9月23日に定め、記念式典の後、盛大な集会を持つべく世話人会を再スタートさせました。

当日は、互いに来し方の健闘を称え、学院の興隆を慶び、向後を励ましあう場としたいものです。



茶話会にて 1960年卒業生(GoldenJubilee)

INFORMATION

① 箱根駅伝応援する会に参加しよう

41年振りに“シード権獲得”2011年1月2,3日熱きご支援・応援をお願いします。

詳しくは青山学院箱根駅伝公式サイト(<http://www.alumni-aogaku.net/>)をご覧ください。

② スカラシップチャリティーゴルフ

2011年3月16日に恒例のスカラシップチャリティーゴルフをキングフィールズゴルフクラブ(千葉県市原市新巻377)で行います。ダブルペリア方式で6組の参加を予定しています。参加をご希望の方は、郵便またはE-mailで本会事務局にご連絡ください。



③ クラス会・同期会を開きませんか?

経済学部クラス会や同期会等を開催する場合には、校友会で管理している卒業生名簿を名簿ラベルとしてお渡しすることができます。詳しい手続きにつきましては、同会事務局にご相談ください。

④ 募集!!

本誌「オイコスノモス」の編集委員を募集しています。皆様の新しいアイデアをお待ちしております。
連絡先：〒150-8691 渋谷郵便局 私書箱145号
青山学院大学経済学部同窓会
E-mail: info@oikos-nomos.com

ゼミ連(活動)について 経済学部准教授 高嶋修一

経済学部ゼミナール連合(ゼミ連)は、かつて存在していたものの廃止されたという経緯がありましたが、意欲的な学生の希望により2007年に復活しました。以来、各ゼミの研究成果を競いあうゼミナールコンテストや、OB・OGおよび企業関係者を招いての進路相談会、留学生との交流会やゼミ相互の親睦行事など、さまざまな活動を実施しています。昨年度は経済学部創立60周年にあわせ、学部と協力してエコバッグデザインコンテストを実施、優秀作品を商品化し、キャンパス内の購買会で販売しました。これらの活動は、有志で集ったゼミ連役員の学生が中心となって進めています。今年度は、学部との連携を強化しながらより多くの学生が参加しやすくなるよう、規約の改定を教職員と共同で進めています。

同窓会からは、これまでに寄付や飲料の差し入れ等、さまざまなご協力を頂いております。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

経済学部ゼミナール連合
<http://www.cc.aoyama.ac.jp/~aoyamagakuin-keizaiseminar-union/index.html>

エコバッグデザインコンテスト優秀作品



キャンパス内の購買会で販売しています。 各1,000円

お問い合わせ
青山学院購買会 青山店
tel: 03-3409-4401

今後のスケジュール

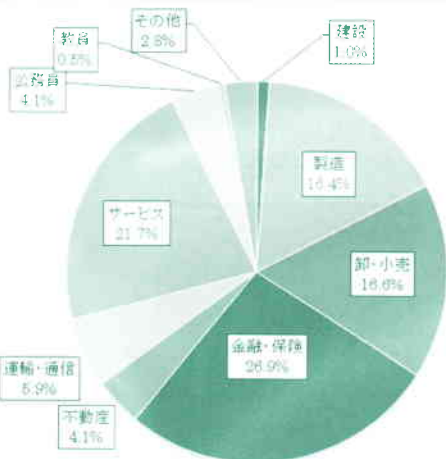
2010.11.1現在

- ◆ 2010. 11.30 第18回経済学部同窓会公開講演会
 寫峰 義清氏(1頁参照)
- ◆ 2011. 1. 2~3 箱根駅伝
- ◆ 1. 20 幹事会・懇親会
- ◆ 3. 16 スカラシップチャリティーゴルフ
- ◆ 3. 26 卒業生勧誘 青山キャンパス
- ◆ 5. 総会、懇親会(予定)

AONサロ

2009年経済学部進路状況

経済学部教授・就職部委員 矢吹 初 ('88)



経済学部では例年、金融・保険への就職率が高いのが特徴的です。その後、サービス、卸・小売、製造などが続きます。この傾向は近年、あまり大きな変化はありませんが、昨年は金融業界が採用を抑制したため、金融・保険の比率が減少しています。またこのため女子学生の就職が厳しくなりました。

ここでは出てきませんが、経済学部の就職率(新規採用決定者率)は78.8%となっており、本学で最も高い水準となっています。しかし近年は減少傾向が認められ、進路保留をしている学生の比率が増加している点に気がなるところです。

経済学部としては、今後とも同窓会を中心とした卒業生の皆様のご協力を仰ぎ、学生の就職をサポートしてまいりたいと思っております。

奨学金報告

経済学部同窓会は後輩を応援するため「経済学部同窓会給付型奨学金」制度を創設し、'04年度から毎年15万円を2名~3名に給付してまいりました。'10年度までに給付した奨学金は累計16名240万円となりました。

この奨学金は同窓会員(アクティブ会員)の年会費やチャリティーゴルフ大会の開催時の寄付金などを源資としています。この奨学金制度の継続のため一人でも多くのアクティブ会員への入会を期待しております。

2009年度(平成21年度) 収支報告書

自 2009年4月1日 至 2010年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目	決算額	次年度予算
1. 会費収入	2,189,060	2,200,000
2. その他収入	612,789	680,000
1) 雑収入	30,000	30,000
2) 預金利息	13,769	20,000
3) 寄付	154,631	200,000
4) 校友会大学部会補助	414,389	430,000
当期収入合計	2,801,849	2,880,000
前期繰越金	9,510,284	10,312,399
収入合計	12,312,133	13,192,399

支出の部

(単位:円)

科目	決算額	次年度予算
1. 事業費	191,638	350,000
2. 会報発行費	382,392	400,000
3. 印刷費	121,219	400,000
4. 通信交通費	100,080	350,000
5. 会議費	169,790	200,000
6. 事務費	16,322	100,000
7. 名簿管理費	527,279	540,000
8. 奨学金	300,000	450,000
9. 雑費(含む加盟費)	104,514	140,000
10. その他	86,500	100,000
当期支出合計	1,999,734	3,030,000
当期収支差額	802,115	△ 150,000
次期繰越金	10,312,399	10,162,399
支出合計	12,312,133	13,192,399

2010年度年会費を納入されていない方は下記へお振込みください。

ゆうちょ銀行 口座番号: 00160-2-134995

加入者名: 青山学院大学経済学部同窓会

通信欄にご記入ください: 住所/氏名/1部2部商経 卒年/

年会費種類 年会費 3,000円

10年会費 20,000円

終身会費 30,000円(但し、60歳以上の会員)

編集後記

吉澤 恵美 ('88)

3月27日に行われた大学の卒業式の日、卒業生の同窓会入会勧誘のために青山キャンパスに行ってきました。昔に比べて、経済学部の女子学生の多さと、現代風にアレンジした華やかな袴姿には非常に驚きました。

私が在学していた頃(1984年~1988年)には、経済学部は理工学部に次いで女子学生が少ない学部であり、学部内の女子学生の占める割合は一割弱でした。

しかし、2009年度の経済学部の学部学生の男女比は、約7:3に変化しています。(ちなみに、2009年度の学部全体の男女比は約5.5:4.5。)今後は、経済学部同窓会の会員も女性が増えて行くことになるでしょう。

今号より、オイコスノモス編集委員に女性3名が加わりました。設立60周年以上の伝統のある経済学部の同窓会会報として、今後は老若男女の会員の方々にご満足いただける内容になるように、編集委員一同、努力したいと考えております。

青山学院大学経済学部同窓会会報 第16号

2010年11月1日発行

発行者 太田 義男

発行所 青山学院大学経済学部同窓会

皆様からの情報やご投稿、入会申込、会費納入等のお問合せは下記へ!

〒150-8691 渋谷郵便局 私書箱145号

ホームページ: <http://oikos-nomos.com/>E-mail: info@oikos-nomos.com